

TRAFFIC SCOPE

交通参加者の行動を観察する

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

歩行者は信号機のない横断歩道を渡る時に手を上げているか？

DATA 基礎情報

歩行者が横断の意思を運転者に伝えることは意味がある

2021年4月、「交通の方法に関する教則」(国家公安委員会が歩行者と運転者の交通マナーをまとめた手引き)が一部改正され、信号機のない場所を横断する時の歩行者の心得に「手を上げるなどして運転者に対して横断する意思を明確に伝えるようにしましよ

う」という内容が明記された。
埼玉県警察本部による調査(2021年実施)では、信号機のない横断歩道で手を上げた場合の車両の停止率は85.5%(手を上げない場合は49.8%)という結果が出ている。歩行者側が手を上げて、横断の意思を運転者に伝えることは意味があるといえるだろう。「交通の方法に関する教則」の一部改正から4年以上が経過し、信号機のない横断歩道を渡る時の手上げが歩行者に定着したか、東京都と山梨県の2ヵ所で観察した。

WATCHING 観察

横断歩道を渡る前に
手を上げた歩行者はわずか

観察した1時間半の間に、東京都内の横断歩道(観察場所A)では歩行者1257人^{※1}中、手を上げたのは15人(1.2%)。歩行者のほとんどは周囲を確認することなく、前を歩く人を追いかけるように横断歩道を渡っていた。横断する前に左右の安全確認をしたのは46人(3.7%)だった。
山梨県内の横断歩道(観察場所B)では歩行者169人^{※1}中、手を上げたのは3人(1.8%)。121人(71.6%)が左右の安全確認をしてから横断していた。
2ヵ所とも、横断する前に手を上げる歩行者はわずかかという結果になった。併せて、横断歩道の手前で車両が止まった際、歩行者が運転者に対してどのような対応をしたかを観察したところ、運転者に会釈やハンドサイン

をした歩行者は観察場所Aでは9人(0.7%)、観察場所Bは7人(4.1%)だった。
また、歩行者保護をした車両は観察場所Aで197台^{※2}中173台(87.8%)、観察場所Bは95台^{※2}中75台(78.9%)だった。
Aは人通りが多いため、横断歩道を渡る歩行者が途切れるまでクルマが1分以上停止していたこともあった。クルマが歩行者保護を行わないケースは、横断歩道を渡ろうとする歩行者が少ない時である。一度停止したら歩行者がいなくなるまで待たなければならないため、それを嫌って、あえて歩行者保護をしていないように思われた。
一方、観察場所Bは人通りが多くないこともあり、横断歩道を渡ろうとする歩行者の存在を意識していないドライバーが多いように感じられた。歩行者が渡り始めていても、その前を徐行もせずに通過していくクルマが散見された。
^{※1} 道路に車両がない状況で横断した歩行者は除く
^{※2} 横断歩道を渡る(渡ろうとする)歩行者がいる時に通過した二輪車・四輪車



観察場所A、Bとも横断する前に手を上げる歩行者はわずかだった

ADVICE アドバイス

横断前に手を上げるとともに
左右の安全確認を

当紙では観察場所AとBで2021年9月にも同様の観察を実施している。この時、手を上げた歩行者の割合はAで1.9%、Bで4.0%だった。横断歩道を渡る前の手上げが定着しているとは言い難い。
信号機のない横断歩道では車両が歩行者を保護することは大原則であるが、歩行者は車

両が横断歩道の手前で停止する様子がない状況においては、手を上げるなどして、運転者に気づいてもらうことも必要だ。実際に観察場所Bでは、歩行者が手を上げたことでクルマが停止した場面が見られた。
横断歩道を利用していても、車両の運転者から見落とされる場合もある。信号機のない場所を渡る時は、スマートフォンなどを注視せず、顔を上げて周囲の安全を確認してほしい。横断を始めていても止まらないクルマも存在する。横断の後半に左側から車両が接近していないか確かめることも必要だ。

観察結果

観察場所 A

東京都調布市
京王線「調布駅」付近
観察日／8月8日(金)
観察時間／16:30～18:00
天候／晴れ



人通りがある時は左右を確認せず、前を歩く人に付いていく歩行者が多かった



横断歩道を渡る歩行者が途切れると歩行者保護をしないクルマが現れる



スマートフォンを見ながら横断歩道を渡る歩行者

●歩行者の行動(人)

横断前の 手上げ	手を上げた			15 (1.2%)
	手を上げなかった			1242 (98.8%)
	合 計			1257
横断前の 安全確認	安全確認あり	止まって 左右を確認	25 (2.0%)	46 (3.7%)
		止まらずに 左右を確認	21 (1.7%)	
	安全確認なし			1211 (96.3%)
	合 計			1257

観察場所 B

山梨県甲府市
JR「甲府駅」付近
観察日／8月1日(金)
観察時間／16:30～18:00
天候／曇り



観察場所Aに比べ、横断する前に左右を確認する歩行者は多かった



歩行者が横断を始めているのに止まらないクルマ



スマートフォンを見ながら立っていると渡る意思があるのかわからない

●歩行者の行動(人)

横断前の 手 上 げ	手 を 上 げ た			3 (1.8%)
	手 を 上 げ な か っ た			166 (98.2%)
	合 計			169
横断前の 安全確認	安全確認あり	止まって 左右を確認	48 (28.4%)	121 (71.6%)
		止まらずに 左右を確認	73 (43.2%)	
	安全確認なし			48 (28.4%)
	合 計			169